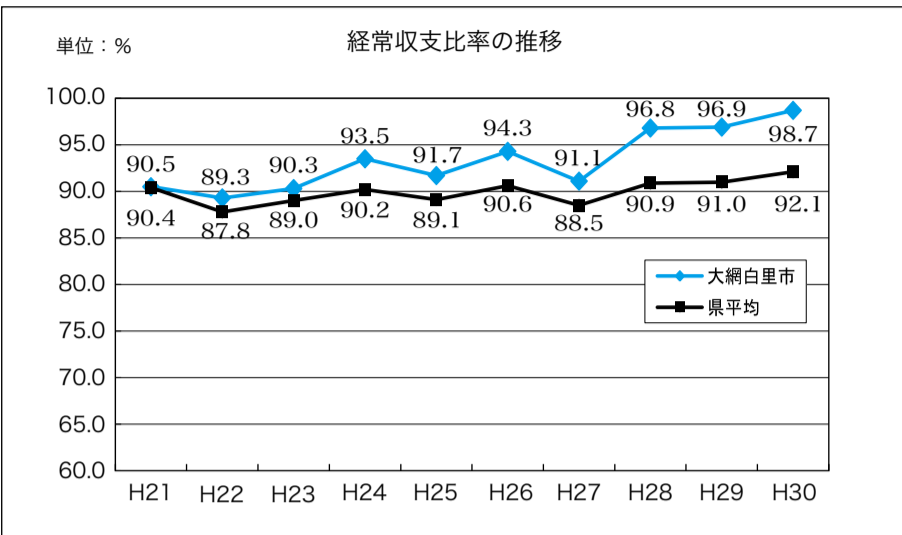


◇経常収支比率の推移（普通会計）

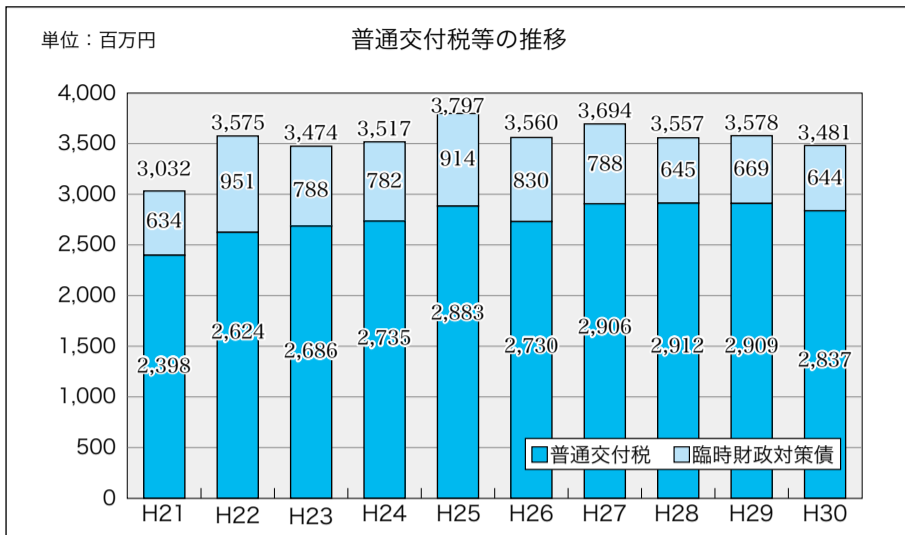
経常収支比率とは、毎年固定的に支出される経費に充てられた一般財源の割合を示す指標で、この比率が高いほど財政運営上の自由度が低くなると言われています。

平成30年度は市債償還金や保育土処遇改善に向けた経費等の増額に伴い、経常収支比率が0.8ポイント増加し、98.7%となりました。



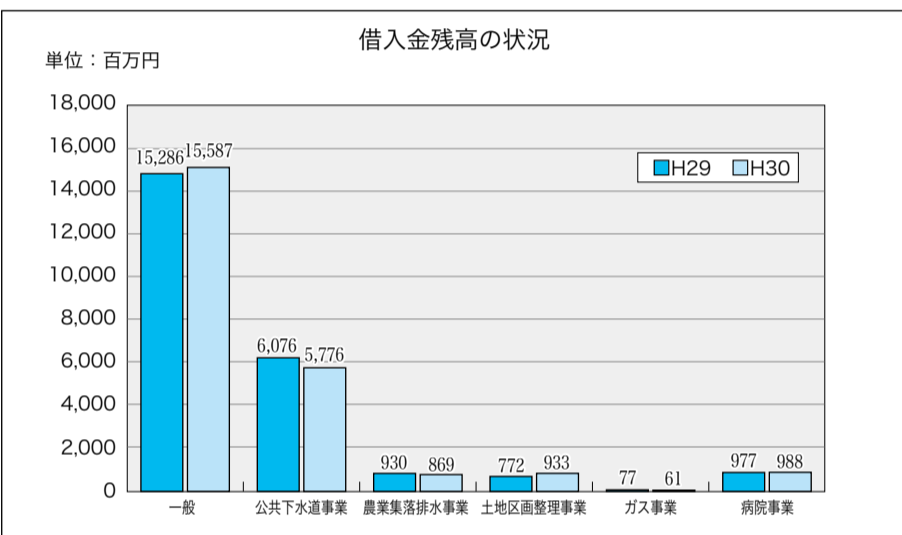
◇普通交付税等の推移

平成30年度の普通交付税は、臨時財政対策債（制度上、普通交付税の一部を市債に振り替えたもの）を加えた実質的な額で、約34億8千百万円となり、普通交付税は約7千2百万円の減額、臨時財政対策債も約2千5百万円の減額となりました。



◇借入金残高の状況（全会計）

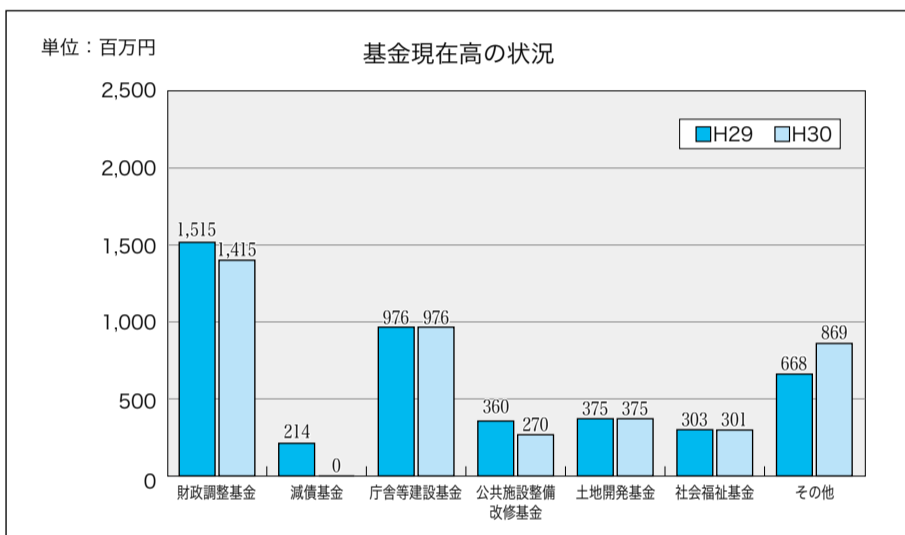
平成30年度末の借入金残高は、全会計合計で約242億円となり、前年度と比べ、約1億円の増額となりました。平成30年度の主な借入については、大網駅東土地区画整理事業や圏央道スマートインターチェンジ関連事業、児童福祉施設整備事業等の建設事業となっています。



◇基金現在高の状況（全会計）

平成30年度末の基金現在高は、約42億6百万円です。平成29年度末と比較すると、合計で約2億5百万円の減額となりました。

※平成30年度末の減債基金残高は25万3,358円ですが、表示単位に合わせた四捨五入をしたことにより0百万円と表記しています。



◇令和元年度一般会計・特別会計上半期収支状況

(千円、%)

会計名	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般会計	15,890,249	7,030,545	44.2	5,999,754	37.8
特別会計					
国民健康保険	5,253,654	2,233,813	42.5	1,995,898	38.0
後期高齢者医療	585,091	213,019	36.4	129,507	22.1
介護保険	4,295,339	1,760,657	41.0	1,631,808	38.0
介護サービス事業	25,147	8,931	35.5	11,929	47.4
土地取得事業	28	509	1,817.9	0	0.0
公共下水道事業	1,598,688	200,615	12.5	446,981	28.0
農業集落排水事業	144,289	14,405	10.0	63,391	43.9
土地区画整理事業	260,707	30,906	11.9	47,458	18.2

※予算額は、繰越分を含む9月補正後の予算です。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、平成30年度決算に基づく「健全化判断比率」を算定したところ、いずれの指標におきましても早期健全化基準を下回る数値となりました。

- (1)実質赤字比率…一般会計等の実質赤字の標準財政規模※に対する比率
 - (2)連結実質赤字比率…全ての会計の実質赤字の標準財政規模に対する比率
 - (3)実質公債費比率…公債費及び公債費に準じた経費の標準財政規模に対する比率
 - (4)将来負担比率…一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率
- ※標準財政規模…地方公共団体が通常収入されるであろう経常的一般財源の規模を表すもの
また、公営企業会計における「資金不足比率」を算定したところ、資金不足の発生した公営企業はありませんでした。

◇令和元年度公営企業の状況（8月31日現在）

◎ガス事業

区分	令和元年度8月末累計	平成30年度8月末累計
調定戸数	59,225戸	58,913戸
販売量	2,709,835m ³	2,452,129m ³
平均使用量	45.8m ³	41.6m ³
平均売上額	4,103円	3,788円

科目	予算現額(千円)	収入・支出済額(千円)	収入・執行率(%)
ガス事業収益	778,699	268,561	34.5
ガス事業費用	766,242	182,713	23.8

◎病院事業

区分	患者数(8月末累計)	1日平均患者数
入院	12,167人	79.5人
外来	27,948人	268.7人

科目	予算現額(千円)	収入・支出済額(千円)	収入・執行率(%)
病院事業収益	2,566,980	856,121	33.4
病院事業費用	2,563,924	892,472	34.8

◇平成30年度決算に基づく健全化判断比率

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
大網白里市比率	- (-)	- (-)	7.6% (7.8%)	79.9% (73.9%)
参考				
早期健全化基準	13.40%	18.40%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%	-

・実質赤字額、連結実質赤字額は発生していないので、「-」と記載
・()内は前年度数値

◇平成30年度決算に基づく資金不足比率

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準	備考
ガス事業会計	- (-)	20.0%	剰余額 347,653千円
病院事業会計	- (-)	20.0%	剰余額 209,695千円
公共下水道事業特別会計	- (-)	20.0%	実質収支額 21,331千円
農業集落排水事業特別会計	- (-)	20.0%	実質収支額 5,447千円

・資金不足額は発生していないので、「-」と記載
・()内は前年度数値

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$